

【第6回開催レポート_さつま町観光未来研究室】

開催日時：2019年2月12日（火）14:00～17:00

場所：宮之城鉄道記念館 2階

出席者数：24

内容：

1) 導入

- 前回の振り返り
- 皆さんへのお願いを共有
- ①積極参加をお願いします（反応3割増し） ②前向き参加（やわらか発言）
- ③リラックス参加（ストレスフリー）
- アイスブレイク
場と身体と緊張などをほぐしていくために、簡単なゲームを行う
- 今日の目的の共有
- ①最初の一步を踏み出した今、改めて戦略を見直してみる
- ②プレゼンテーションの準備をする

2) 各チームでプロジェクトの進捗共有

現状を共有する時間

3) 各チームで対話の時間

これまでの振り返りを各チームで対話しながら進めた。

- ①この半年間で得られたもの
(さつま町観光未来研究室全体を通して得られたものは?)
- ②最初の一步を踏みだそうとした/踏み出してみた感じた手応え
(実際にチームとして踏み出してみて感じた手応えは?)
- ③これから踏み出し続けるうえで、大切にしたいこと
(これからもチームとしての取り組みや一人ひとりの取り組みが進んでいくために、大切にしたいことは?)

※上記のテーマのなかで出てきた各チームごとの内容は別紙参照。

4) 改めて戦略を見直してみる

●資源・課題の見直し

さつま町観光未来研究室のなかで出てきた「資源」「課題」について整理した一覧を見ながら各チームで戦略の見直しを進めた。

【資源】

- ①資源一覧を見ながら、各チームですでに使っている資源をチェックしていく
 - ②資源一覧を見ながら、各チームでまだ使えていないけど活用可能性のありそうな資源をチェックしていく
- ➡一步は踏み出した。さて二歩目、どこに向かおうか、と思ったときにこそ、いまさつま町にある資源一覧を見直してみることに。確認を都度行うことが大切。ただ資源をたくさん出して、さつま町いろいろあるね、で終わらない資源一覧の活用方法。

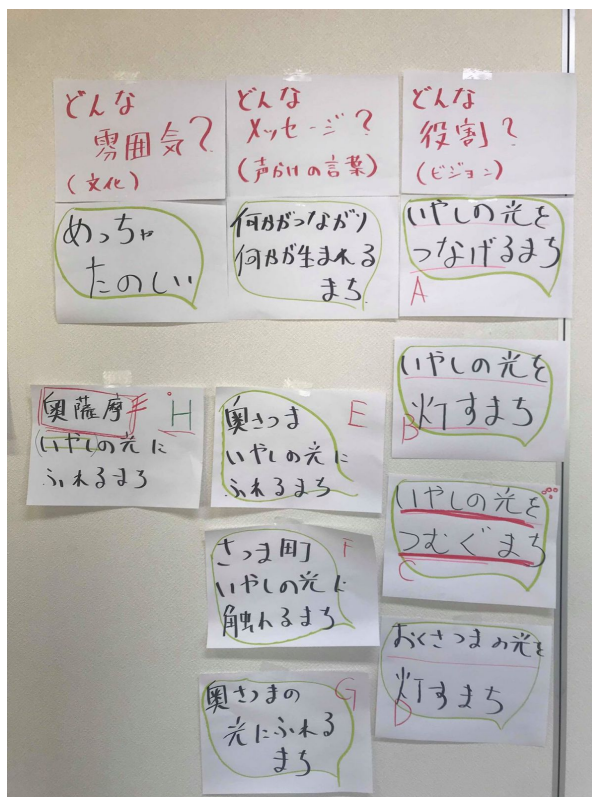
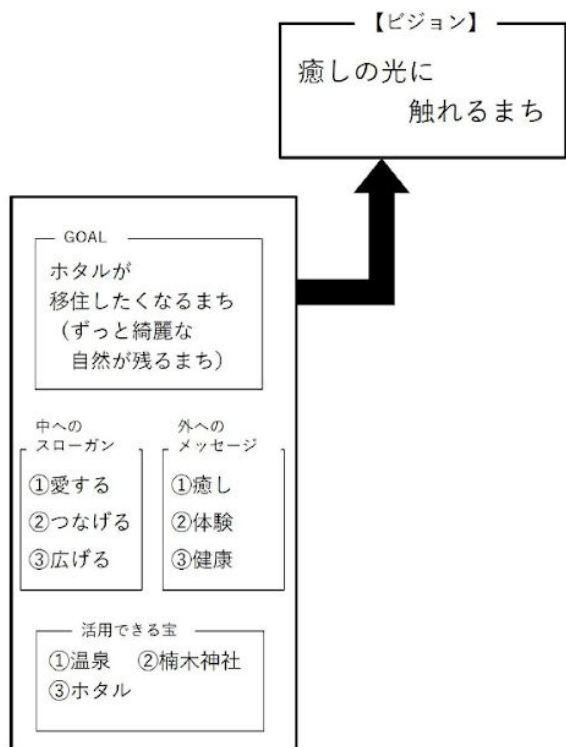
【課題】

- ①改めてチームとして向き合う課題は何だろうか?
- ➡課題を見つめなおすことで、「なぜやっているのか」を問うことにつながる。

●キーワード/ビジョン/アクションプランを見ての感想共有

以前、みなさんからさつま町の観光を考えるうえでのビジョン（＝大切にしたいこと）を考えていただき、キーワードをあげていただいた。それらを整理して、事務局からご提案したのは『癒しの光に触れるまち』というビジョン。

今回は一歩踏み出してみた今、そのビジョンを改めて見直してみた。外向けに発信される、さつま町の観光ビジョンというよりは、ここで走り続ける皆さんの北極星としてのビジョンとして改めて見直してみた。



(↑以前提案させていただいたもの)

(↑今回話していく中で新たなキーワードが多数)

➡最終的な整理として...一つのビジョンとして言葉を整理するのではなく、問いを分解して項目ごとにテーマを整理することに。

●どんな雰囲気（文化）？

『めっちゃたのしい!』

●どんなメッセージ？（声かけの言葉）

『何かがつながり、何か生まれるまち』

●どんな役割？（ビジョン）

『癒しの光をつむぐまち』

5) 改めて戦略を見直してみる

3) 各チームでの対話の時間の続きで、下記のテーマについて話をした。

④ 来年度以降への提案やメッセージ

(来年度以降の関わりについて、どんな期待ができるだろうか？／今年度の受講生の皆さんがさつま町観光未来研究室の1期生だとしたら、2期生以降の皆さんに伝えたいことや届けたいメッセージは何でしょう？)

※上記のテーマのなかで出てきた各チームごとの内容は別紙参照。

5) 最終報告会 (3/10) のプレゼンテーションについて

● プレゼンテーションの内容

☆ プレゼン時間は1チームあたり3分間

☆ 基本的にはパワーポイントでの作成

① 取り組むテーマ

② 解決したい課題

③ 具体的に取り組んだこと

④ その中で見えてきた可能性

⑤ 今後への展望

⑥ みなさんに伝えたいこと (お願いや必要な協力等)



以上